

「情報公開文書」

課題名： 多施設後ろ向き観察研究「胃癌 AI 診断の精度向上」のための研究

1. 研究の対象

2009 年 4 月～2019 年 8 月までに、当院で上部消化管内視鏡検査により胃癌と診断をうけた 20 歳以上の患者さん

2. 研究の目的・方法

日本消化器内視鏡学会では、いまだに罹患者数、死亡者数の多い胃癌の発見率の向上、および、治療方針を決定する質的診断能の向上を目指して、人工知能 (Artificial intelligence; AI) を用いた、胃癌の内視鏡自動診断システムの開発を行う研究を行っております。この研究は、日本医療研究開発機構 (Japan Agency for Medical Research and Development; AMED) 臨床研究等 ICT (Information and Communication Technology) 基盤構築・人工知能実装研究事業/研究開発課題名:「内視鏡統合データベースと連携する内視鏡診療領域における AI プロトタイプ開発と実装に向けた ICT 基盤整備」研究開発/日本消化器内視鏡学会理事長:井上晴洋 の一環として、AMED から資金提供を受けて、東京大学医学部附属病院、京都第二赤十字病院、はじめ、参加を表明した Japan Endoscopy Database (JED) Project 参加施設 (日本消化器内視鏡学会指導施設)、日本消化器内視鏡学会 JED Project、国立情報学研究所がそれぞれ協力しながら行っている多施設共同の臨床研究です。2009 年 4 月～2019 年 8 月までに、各参加施設で上部消化管内視鏡検査により胃癌と診断をうけた 20 歳以上の患者さんを対象にしております。この研究は、内視鏡検査で実際の診療で施行された画像および、それに付随する検査・病理報告書に記載された内容を用いて行われますので、該当する患者さんの現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。

研究期間は臨床研究倫理委員会承認後より 2023 年 3 月 31 日までです。

なお、この研究は日本消化器内視鏡学会の倫理委員会の承認を得ております。この研究にご協力いただくかどうかは、研究参加者の皆様の自由意思に委ねられています。この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下の問い合わせ先にご連絡ください。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって各参加施設における診療・治療において不利益をこうむることはありませんので、ご安心下さい。

ご本人の申し出があれば、可能な限り情報・データ等及び調べた結果を廃棄します。ただし、同意を撤回されたとき、すでに研究結果が論文等に公表されていた場合等は、廃棄することができませんのでご了承ください。

3. 調査する診療記録・検査記録の一覧

① 内視鏡画像、② 画像データに付随する内視鏡検査・病情報

データの送り先：日本消化器内視鏡学会

4. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

当院の研究責任者：

地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター
消化器内科 部長 根引浩子
〒534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22
電話番号：06-6929-1221

研究代表者：

研究代表施設：日本消化器内視鏡学会
研究統括責任者：日本消化器内視鏡学会 藤城 光弘
(名古屋大学大学院医学系研究科)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-1
新御茶ノ水アーバントリニティビル 4F
一般社団法人 日本消化器内視鏡学会
電話番号 03-3525-4670